

X-PRESS FEEDERS

X-Press Feeders社は1972年にシンガポールで設立された、世界最大規模のコンテナ・フィーダー専門船社です。東南アジア域内にてサービスを開始いたし、その後、アジア全域、中近東、アフリカ、カリブ海、中南米、地中海、そして欧州域内に進出をして、全世界を網羅するフィーダー網を確立しております。

2025年時点で、世界87航路のサービス網にて180港の寄港を数え、年間5.9 million TEUのコンテナを輸送いたしました。



X-Press Feeders社は、現在、700TEUから7000TEUクラス100隻以上のコンテナ船を保有する、世界第13位の船腹量を誇る船社ですが、これらの船腹の全てが、フィーダー専門船社として、日本を始めとする各顧客船社殿のフィーダー輸送に供しております。

また、独立系コモン・キャリアであるX-Press Feeders社は、コンテナの所有・リース・運用のいずれも行わず、自社貨物を輸送する事ありません。 このビジネスモデルにより、XPF社は業界全体に於いて、顧客船社様に信頼をされ、かつ完全な中立的な輸送パートナーとして活動する事が可能となっております。



XPF社は世界中に自営オフィス、ないしは代理店網を巡らせておりますが、日韓フィーダー航路に関しましては日本、韓国ともベン・ライン・エージェンシーズが総代理店としての業務を遂行しております。



Ben Line Agencies

Ben Line Agenciesは1825年にスコットランドで設立された、英国系の老舗海運代理店会社であり、昨年2025年には創立200周年を迎える事となりました。

創業以来、かつては日英独船社によるアジア～欧州間コンテナ共同配船の“Trio Group”に代表される、自社保有船舶を運航するオーナー・オペレーター会社であったBen Lineですが、1980年代以降に大きな事業転換を図り、経営の軸足を海運代理店業へ、更に、総合海事事業グループへと変身を遂げております。

Ben Line / Ben Line Agenciesの足跡

1825年：Ben Lineが英スコットランド・エディンバラ市に設立。

1839年：定期海運輸送業にオーナー・オペレーターとして乗り出す。初の自社バルク船“Carrara号”(218トン)を投入し、エディンバラ～イタリア間輸送に乗り出す。エディンバラとカナダ間で石炭(往航)と木材(復航)の輸送に従事。

1852年：1848年に買船した“Signet号”をもって、英国～オーストラリア間の航路を開いた。

1853年：スコットランド語で「山」を意味する“Ben”を冠した初の自社新造船“Bencleuch号”(巻頭見出しに同船の絵画)が就航。その後の自社新造船にはすべて“Ben”が冠せられることに。

1859年：ペリー来航の5年後、Ben中国航路船“Araby Maid号”が横浜に初寄港。Benの日本への初登場である。

1860年代：鋼鉄船“James Wishart号”を含む9隻の大型帆船を購入し、英国から豪州間、さらに中国や日本など極東に至る長距離定期航路の営業を本格化させた。

1877年：バルト海貿易のために2隻の蒸気船を取得。海運は蒸気船の時代に入っていく。

1902年：この年から1914年にかけてBen Line向け9隻の貨物船建造が始まった。

1914年：船名に“Ben”を冠した自社船を14隻運航するほか、バルチック汽船の5隻も保有する欧州屈指の船社となる。

1950～72年：欧州と極東を結ぶ定期航路を数多く開発し、欧州航路をリードする定航船社のひとつになる。

1951年：極東貿易に注力するため、アジアでの拠点をシンガポールに置いた。現在に至るまでBen Line Groupの本拠地となる。

1971年：Ben Line日本支社を設立、日本での営業体制を強化。
1973年：Ben初のフルコンテナ船3隻(3000TEU型)が竣工した。
同船隊は日英独3カ国船社で構成の Trio Groupに投入された。
1974年：合併会社 Ben ODECOを設立し、海洋石油探査事業へと事業を多角化、掘削リグや掘削船の所有・運航を始めた。他社船も買収し、英国最大の海洋掘削請負業者となる。
1977年：Ben Lineグループは海陸合わせて2000人以上を雇用、コンテナ船4隻／貨物船13隻／バルクキャリア6隻／ケミカルタンカー3隻／掘削リグ・掘削船7隻からなる多様なオーナー海運企業体に成長した。
1988年：コンテナ定期船輸送という社内の中核事業を補完するため、積極的に他海運企業の代理店業務を引き受ける戦略を立て、海運代理店「Ben Line Agencies」を設立した。その後、不採

算船腹の売却を進めながら、海運代理店業に重心を移していく。
1988年：日本法人 Ben Line Agencies (Japan) Ltd. を設立。
1992年以降：船舶やリグを売却しつつ、外航定期船代理店業の発展に注力し、香港やマレーシア、タイなどアジアの主要拠点に次々と拠点網を拡大した。その後10年ほどの間に、定期船代理業、港湾代理店、プロジェクト物流、オフショア・サポート、国際貨物輸送、タンクコンテナ・リース業、P&Iクラブ代理業および海事調査業などに営業範囲を拡大していく。
1993年：残るコンテナ船3隻を売却してオーナー・オペレーター業を完全に終了し、代理店専業社となる。
1994年：日本法人の社長に飯垣隆三氏(現会長)が就任。
2025年：Ben Line Groupはアジア・北米を中心に世界18カ国130拠点、2300人の社員を擁する一大代理店企業となった。

SHIPPING GAZET

Ben Lineは現在、アジア地域を中心に18か国130か所の拠点に2300人の社員を擁して、X-Press Feeder社を含む船社代理店、並びに、その他の海運業務を行っています。



1. Ben Line Group - Network



AUSTRALIA

Abbot Point, **Brisbane**, Dampier, Eden, Esperance, Fremantle, Geelong, Gladstone, Mackay (Dalrymple Bay Coal Terminal & Hay Point Coal Terminal), Newcastle, Port Kembla.



BRUNEI

Bandar Seri Begawan



CAMBODIA

Phnom Penh, Sihanoukville



CHINA

Beihai, Chongqing, Dalian, Fangcheng, Guangzhou, Hangzhou, Huangpu, Jiangmen, Lianyungang, Nanjing, Nanning, Ningbo, Qingdao, Qinzhou, **Shanghai**, Shekou, Shenzhen, Shijiazhuang, Tianjin, Wuhan, Xiamen, Zhanjiang, Zhengzhou, Zhongshan, Zhousan.

HONG KONG

TAIWAN

Kaohsiung, Taichung, **Taipei**



INDIA

Chennai, Cochin (Kochi), Delhi, Dhamra, Goa, Gopalpur, Haldia, Jaigad, Jamnagar, Kakinada, Kandla, Karaikal, Kolkata, Krishnapatnam, Ludhiana, Mangalore, Muldwarka, Mumbai, Mundra, Paradip, Pipavav, Surat, Tuticorin, and Visakhapatnam (Vizag)



INDONESIA

Bali, Balikpapan, Banjarmasin, Bandar Lampung, Batam, Belawan, Benete Bay, Berau, Bontang, Dumai, Gresik, **Jakarta**, Kendari, Kotabaru, Medan, Merak, Morowali, Palembang, Patimban, Samarinda, Sangkulirang, Satui, Semarang, Sorong, Surabaya, Tanjung Priok.



CANADA



JAPAN

Moji, Osaka, **Tokyo**



MALAYSIA

Bintulu, Johor Bahru, Kemaman Supply Base, Kota Kinabalu, **Kuala Lumpur**, Kuantan, Kuching, Labuan, Lumut, Malacca, Miri, Pasir Gudang, Penang, Port Klang, Tanjung Pelepas, Tok Bali Supply Base



MYANMAR

Kyaukphyu, Magway, **Yangon**



PHILIPPINES

Cebu, Davao, General Santos, **Manila**, Subic Bay



SINGAPORE



SOUTH KOREA

Busan, Incheon, **Seoul**



SRI LANKA

Colombo



THAILAND

Bangkok, Laem Chabang, Ranong, Sattahip, Songkhla



TIMOR-LESTE

Dili



VIETNAM

Hai Phong, Hanoi, **Ho Chi Minh**, Phu My, Son Duong, Vung Tau



U.S.A



BEN LINE AGENCIES

2. Ben Line Japan – Office Locations

49 STAFF at 3 OFFICES

Sales (13)

CS (4)

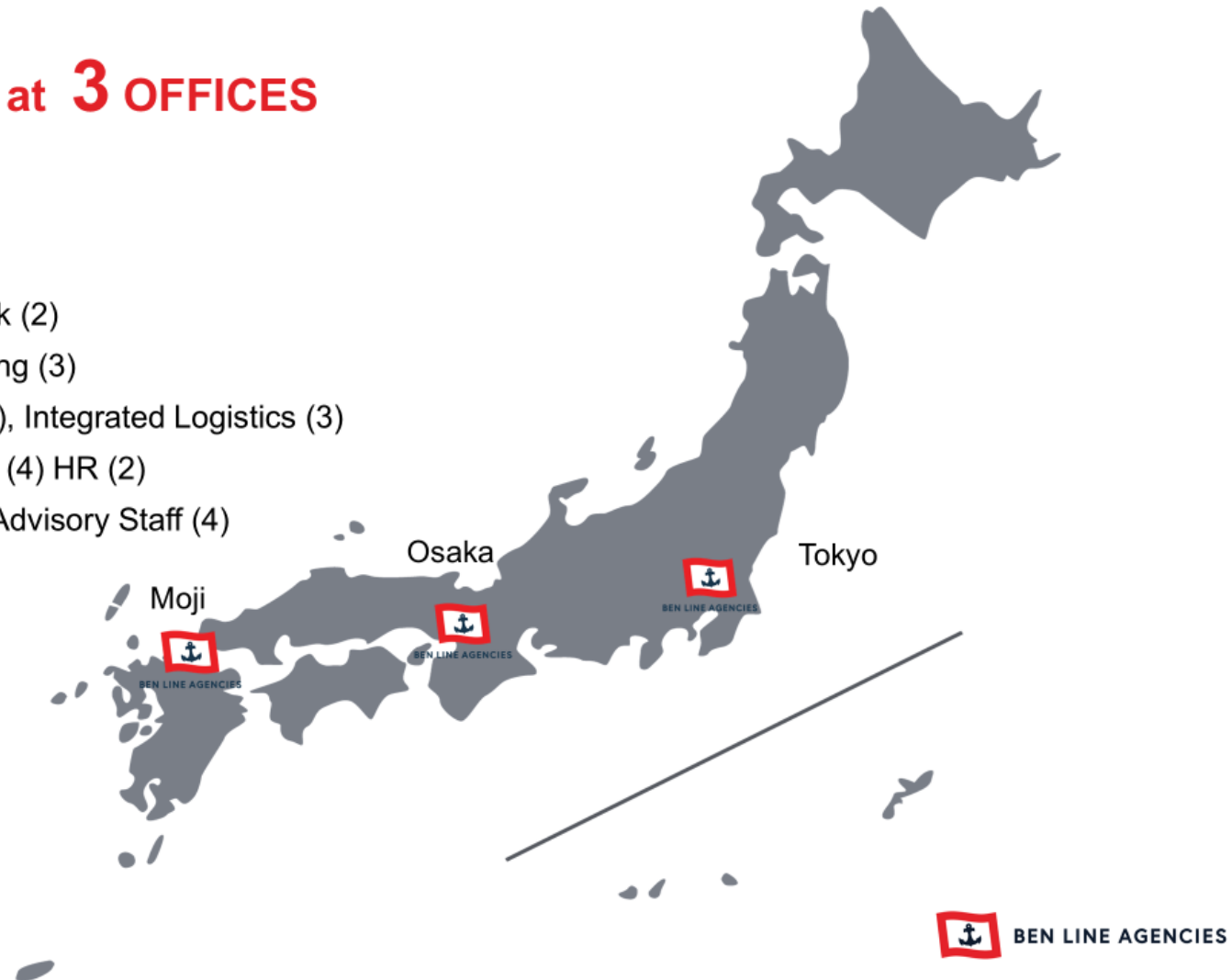
OPS (4), ISO Tank (2)

General Forwarding (3)

Marine Agency (5), Integrated Logistics (3)

IT (2), Accounting (4) HR (2)

Management (3) Advisory Staff (4)



6. Our Services Scope in Japan



BEN LINE AGENCIES

BNX service



BNXサービスの特徴

- 釜山 – 秋田 – 釜山間の定曜日ウィークリー運航
- 1 x 700TEU 積載コンテナ船によるシャトル・サービス
- 秋田港国際コンテナ・ターミナル(オペレータ・秋田海陸殿)
- 顧客船社殿母船との接続に配慮した、釜山港新港 (Busan New Port – HJNC)への寄港



BNX寄港スケジュール

寄港地	ターミナル	寄港日
釜山	釜山新港 (HJNC)	木/金
富山	富山新港国際物流ターミナル	日
秋田	秋田港国際コンテナターミナル	月
新潟	新潟東港コンテナターミナル	火

航海日数				
着港/積港	釜山	富山	秋田	新潟
釜山		2	3	4
富山	2		1	2
秋田	3	1		1
新潟	4	2	1	

BTX service



The Global Common Carrier



BTXサービスの特徴

- 苫小牧寄港最大級の1500TEU capacity size vessel
- 釜山 – 苫小牧 – 釜山間のシャトル便サービス
- 潤沢なReefer Plugの本船装着
- 顧客船社母船との接続に配慮した、釜山港新港 (Busan New Port – HJNC)への寄港

航海日数		
着港/積港	釜山	苫小牧
釜山		4
苫小牧	3	



The Global Common Carrier



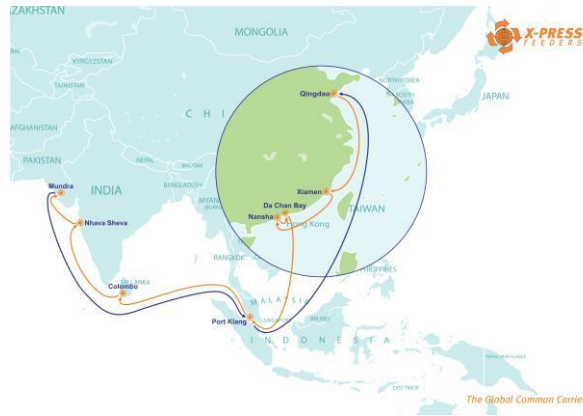
The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



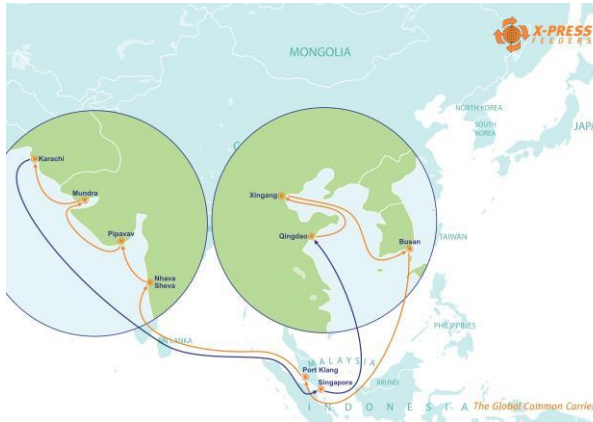
The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



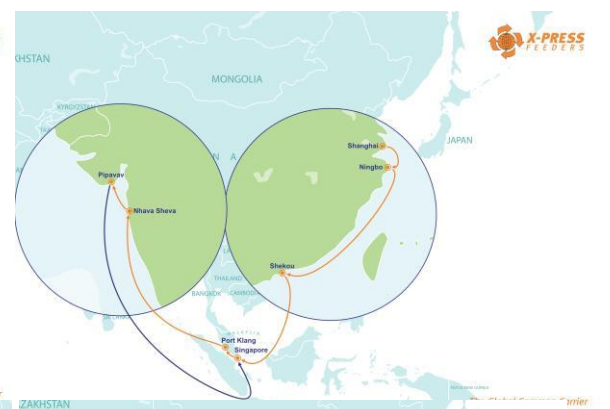
The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



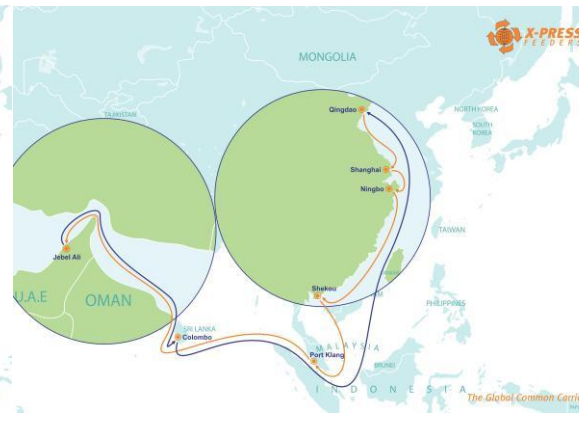
The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



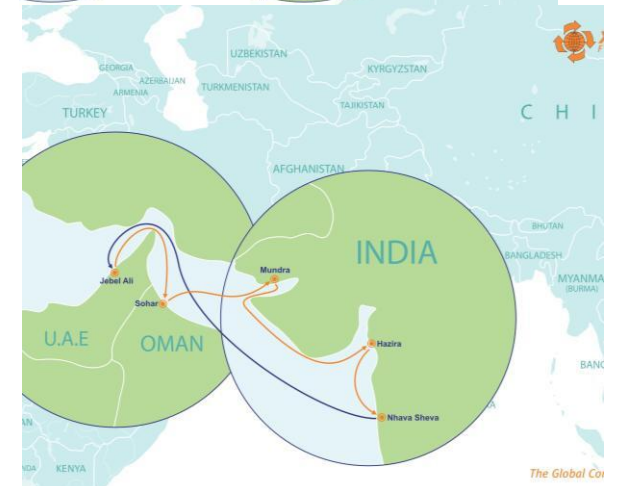
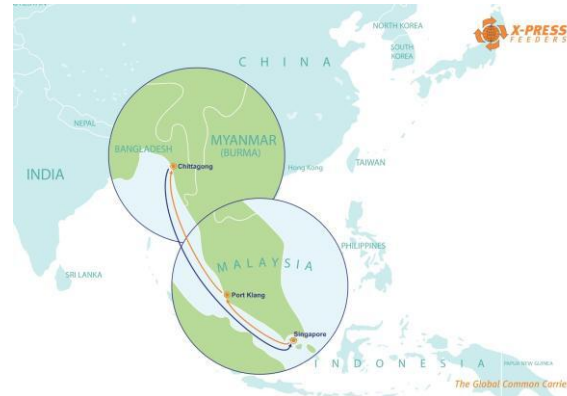
The Global Common Carrier

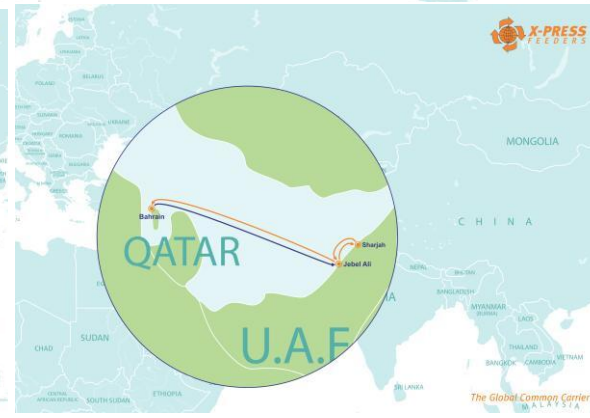
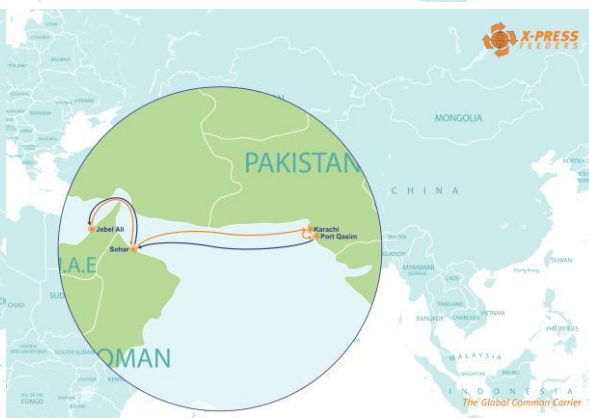


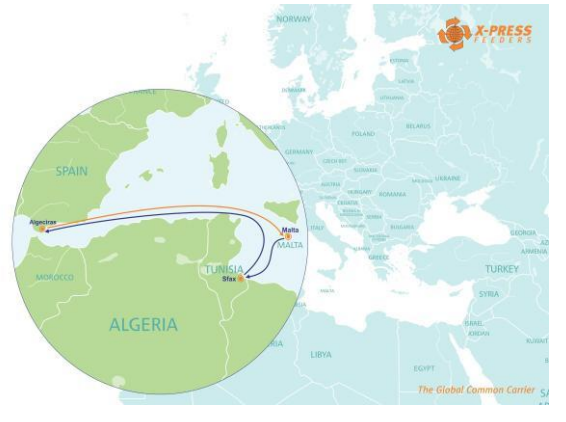
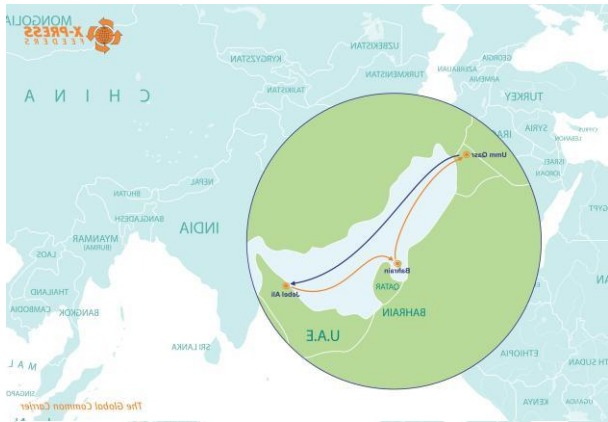
The Global Common Carrier

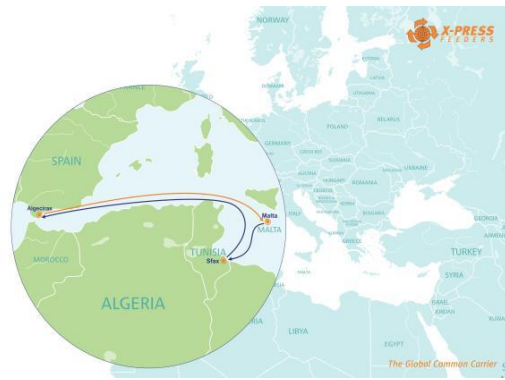
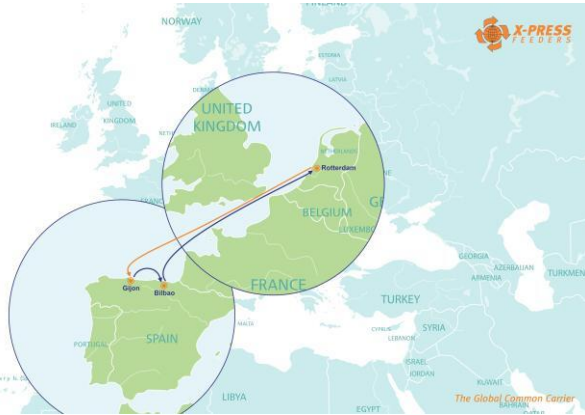


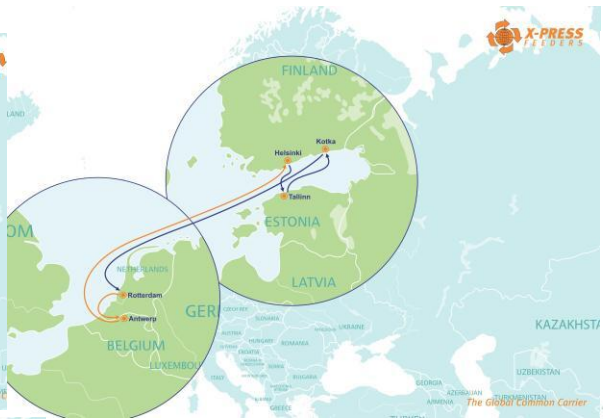
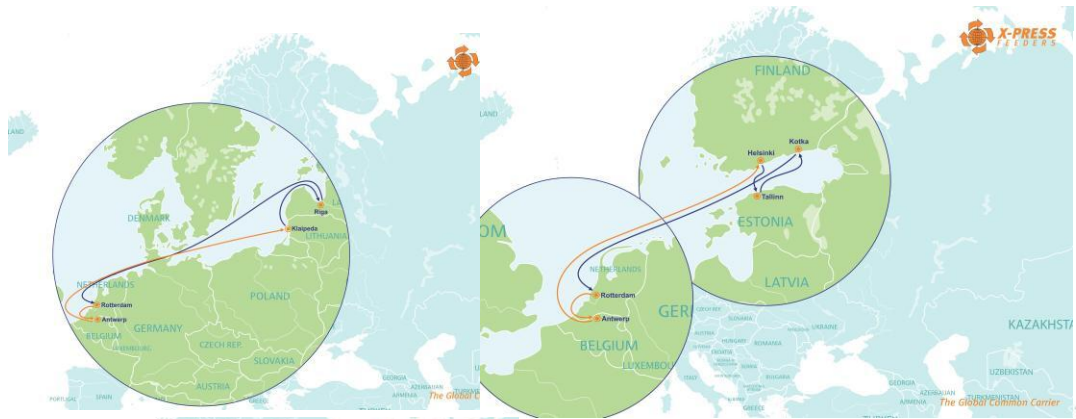
The Global Common Carrier

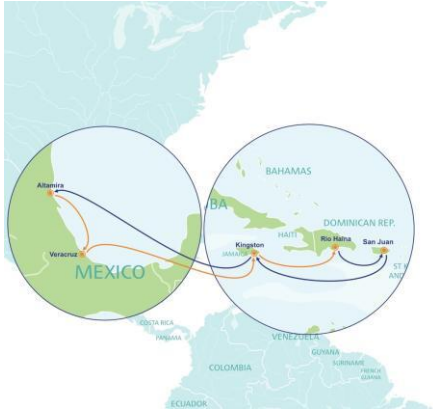












The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier



The Global Common Carrier